

平成24年 火災の発生状況(速報値)

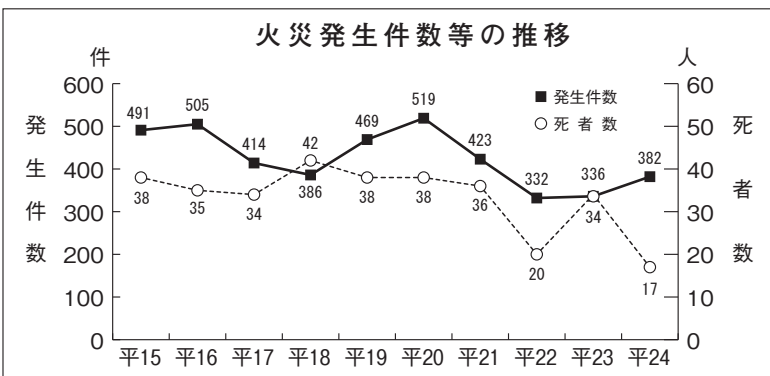
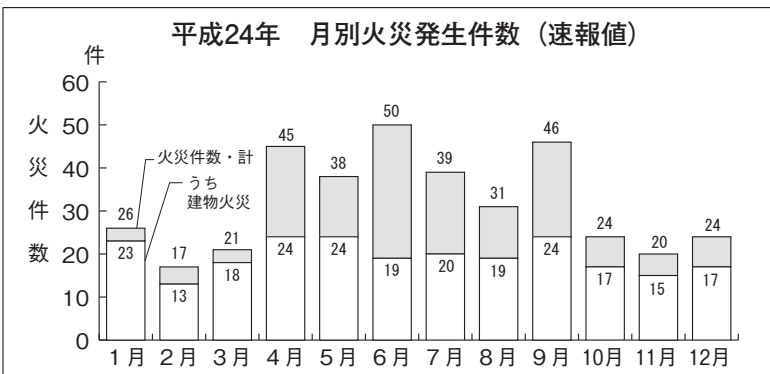
死者数 平成元年以降初めて20人を下回る



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中 泉 松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



平成二四年中の火災の発生件数は三八二件で、春季(四月から六月)に多く発生しており、総出火件数の六一・三%を占めている。また、平成一五年以降一〇年間の出火件数をみると、平成二〇年に五一九件を記録したものの概ね減少傾向となっている。

一方、火災による死者数は一七名となり、平成元年以降初めて二〇人を下回った。

平成二十四年度全国統一防火標語
消すまでは
出ない行かない
離れない

春の火災予防運動
四月七日〜一三日実施

平成二五年春の火災予防運動は、『消すまでは 出ない行かない 離れない』の全国統一防火標語を掲げ、四月七日(日)から一三日(土)までの一週間、全県一斉に実施されます。

制作:財団法人日本防火・危機管理促進協会 後援:消防庁 全国消防長会

春の秋田県火災予防運動
4月6日~4月15日

消すまでは
出ない行かない
離れない

備えよう!
住宅用
火災警報器

宝くじは、
地方自治体の公共事業等に
幅広く使われています。

宝くじの収益金は、
病院や検診車、図書館や動物園、
災害に強い街づくり、緑あふれる公園、美術館など、
皆様の暮らしに役立てられています。

ワクワク、
ドキドキ。

宝くじ

住宅防火 いのちを守る七つのポイント

- 三つの習慣
 - 寝たばこは、絶対やめる。
 - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
 - ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 四つの対策
 - 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
 - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
 - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

消防学校・擬似体験施設のリニューアル、地震体験車の導入を決定

秋田県総合防災課

秋田県では、平成二三年三月一日に発生した東日本大震災の教訓を受け、県民への防災知識の普及・啓発をより積極的に推進するため、老朽化した由利本荘市岩城の消防学校・擬似体験施設をリニューアルし、その機能を強化するとともに、新たに地震体験車を導入することとした。

擬似体験施設は、来年三月のオープンを目指し、完成後は、名称を「防災学習館」に改める予定となっている。

リニューアル事業の概要は、新たに防災シアター、ライブラリー、防災学習コーナーを整備するほか、地震体験や消火体験等、既存設備の更新を行うものである。

一方、地震体験車は今秋からの運用を予定しており、県内各地域を巡回し、多くの県民が地震の揺れの怖さを体験することにより、地震に対する心構え等を習得してもらうこととしている。

防災学習館の主な設備

■防災シアター

一五〇インチの大型スクリーンと四二人分のイスを用意し、最新の防

災啓発映像が視聴できます。

■映像・地震体験コーナー

六軸起振装置により前後左右上下方向への揺れ表現が可能となり、様々な揺れを科学的に体験することができ、映像と合わせ多様な状況からの避難が学習できます。

■煙中体験コーナー

体験通路内には誘導灯や姿勢センサーを設置し、体験効果の充実が図られています。

■疑似消火体験コーナー

一〇〇インチの放水訓練画面を二面に強化するほか、実際に水を放水する訓練用消火器を充実し、学習効果の向上が図られています。

地震体験車の主要装備

■地震体験車とは

震度二〜七までの様々な地震動を三次元でリアルに再現する装置を車輻に搭載し、いつでも、どこでも多くの人に、地震への備え、心構え等を伝えることができる車輻です。

■地震体験室

地震表示板で現在の体験室の揺れを表示し、四二インチ・ディスプレイからの地震映像と音響により、現実さながらの地震体験が可能です。

地震体験車



平成25年度 主な事業計画

日本消防協会

事業項目	開催月日等
1. 消防殉職者慰霊祭	平成25年9月12日 東京都「ニッショーホール」
2. 全国女性消防操法大会	平成25年10月17日 横浜市消防訓練センター *秋田県代表の出場順 第2コース(応援席側) 10番
3. 全国女性消防団員活性化ぎふ大会	平成25年10月30日～31日 岐阜県高山市
4. 消防団120年・自治体消防65周年記念大会	平成25年11月25日 東京ドーム
5. 消防団幹部特別研修	平成26年1月14日～17日
6. 消防団幹部候補中央特別研修	〔男性〕平成26年2月5日～7日 〔女性〕平成26年2月12日～14日
7. 全国消防大会 (定例表彰等)	平成26年2月 東京都「ニッショーホール」
8. 消防団多機能型車両交付事業	14台 *前年度と同数
9. 消防車両交付事業	59台 *前年度比11台の増
10. 女性消防団員制服の交付	1,000着 *前年度と同数
11. 福祉共済事業	共済掛金 3,000円 *平成24年度 4,000円

平成二五年度

事業計画・予算を承認

日本消防協会代議員会

日本消防協会代議員会が二月二十六日(火)午前一時から、東京都港区虎ノ門の「日本消防会館」で開催され、平成二五年度事業計画や予算などが審議され、全議案が原案のとおり承認可決された。

この代議員会に、秋田県消防協会からは中泉松之助会長が出席した。



記念大会の概要

開催日	平成25年11月25日(月) 午前10時から概ね2時間半
開催場所	東京ドーム
スローガン	消防 その愛と力
参加者	37,000人 消防団員、消防職員、婦人防火クラブ等
主催	日本消防協会、全国消防長会
大会内容	
式典前	伝統消防演技 木遣り、纏振り、はしご乗り
第1部	式典 黙祷、国歌斉唱、式辞、表彰、祝辞等
第2部	消防の歩みと展望 放水演技 戦前：腕用ポンプ 戦後：三輪消防ポンプ車 現在：可搬ポンプ 救助演技 高所からの救出、平場での救出 応急救護等
第3部	消防の士気高揚 消防音楽隊演奏とカラーガード隊演技 消防応援隊の激励と歌 消防音楽隊・幼年消防クラブ鼓笛隊等の共演 消防団応援歌「消防団 365歩のマーチ」合唱

消防団一二〇年・自治体消防六五周年記念大会

開催概要

平成二五年は、自治体消防発足から六五周年、消防組規則の制定により全国的に統一した消防組(消防団の前身)がスタートしてから一二〇年を迎えることとなり、これを記念する大会を開催することとなった。

記念大会は『消防 その愛と力』のスローガンのもと、消防の歩みと新たな消防の役割を紹介するほか、

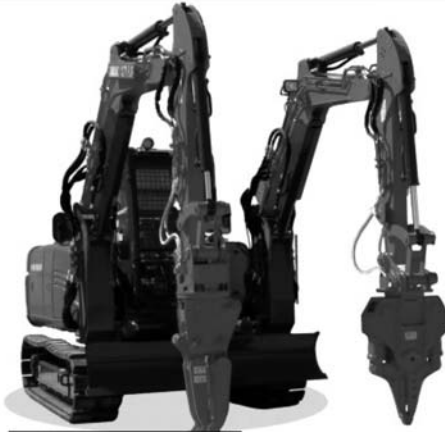
家族愛や郷土愛など「愛」を様々な形で展開するプログラムが用意されていますので、女性消防団員を含む多くの消防職・団員の参加を期待しています。

大会記念章の購入申込み

日本消防協会では、記念大会の開催に当たり記念章を販売します。

後日、購入申込みについて各消防団へ通知いたしますのでよろしくお願ひします。

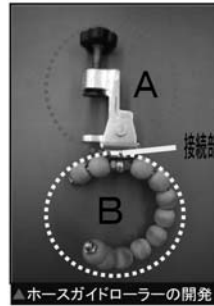
平成25年度 消防防災機器等の開発・改良、 消防防災科学論文及び原因調査事例に関する表彰 作品募集



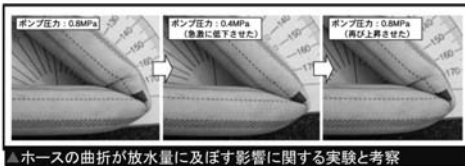
▲ 双腕仕様機(ZX70TF-3)の開発



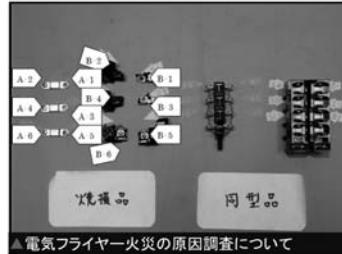
▲ 生存者探査を目的とした半円形二重構造マニピュレータの開発



▲ ホースガイドローラーの開発



▲ ホースの曲折が放水量に及ぼす影響に関する実験と考察



▲ 電気フライヤー火災の原因調査について

応募要領

■募集区分

- (1) 消防防災機器等の開発・改良
- (2) 消防防災科学に関する論文
- (3) 原因調査に関する事例報告

■応募受付期間 平成25年4月1日(月)～5月10日(金)

■表彰及び賞 優秀な作品には消防庁長官から表彰状および副賞を贈呈します

■スケジュール 5月から8月にかけて審査を行い、9月に表彰作品を発表する予定です

※詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。 <http://www.fri.go.jp/>



[お問い合わせ先] 消防庁 消防研究センター 研究企画室

●TEL : 0422-44-8331 ●FAX : 0422-44-8440 ●E-mail : hyosho2013@fri.go.jp



消防庁 Fire and Disaster Management Agency

消防防災機器等 開発・改良等の作品募集

消防庁消防研究センター

消防庁では、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化を図るため、次の募集区分に応じ、作品

の募集を行っています。

■募集区分

- 一. 消防防災機器等の開発・改良
消防防災活動において活用するために創意工夫された機器等の開発又は改良されたもの
- 二. 消防防災科学に関する論文

三. 原因調査に関する事例報告

消防防災活動における問題点を技術的な観点から解決又は考察したものを
原因調査に関する事例報告の観点から解決又は考察した

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

第36回 消防職員意見発表 秋田県大会

秋田県消防長会

秋田県消防長会主催の第三六回消防職員意見発表秋田県大会が二月四日開催され、県内一三消防本部から選抜された若手消防職員が、日頃の業務の中から問題点を抽出し、その対応策等を力強く訴えていた。審査の結果、最優秀賞に選ばれた大曲仙北広域消防本部の阿部和範消防士の意見を紹介する。

真・救急車適正利用のすすめ



大曲仙北広域市町村圏
組合消防本部
阿部 和範

【その一一九番、本当に緊急ですか?】これは救急車の適正利用を啓発するポスターのキャッチコピーです。近年、全国的に緊急性の低い救急要請が増加し、慢性的な救急車不足が続いています。その現状を打開しようと、救急車適正利用が呼び掛けられて来ましたが、私の住む地域では、本来緊急性があるにもかかわらず適正に救急車を利用できていない落とし穴があることに気がかされました。

「おばあちゃんが、脳梗塞で入院した」それは、私がいつもお世話になっている家からの電話でした。お見舞いのため病室を訪ねると、「救急車頼んだ事ねがったが、何と話せばいいが分がらなくて、タクシード呼んだつた」と倒れた時の事を話してくれました。

倒れた時、家にはおばあちゃん夫婦しか居らず、救急車の呼び方が分からなく、使い慣れたタクシードで病院へ向かったそうです。幸い大事には至らなかったものの、最悪の結果を考えると、伝えなければならぬ事が山ほどありました。

この様な話は、少子高齢化が進んでいる私の勤務する地域ではよく耳にすることです。救急車を頼んだ事がないからタクシードを利用する。遠慮がちな高齢者は周りに気を遣い、命に危険のある症状であっても家族の運転で病院に向かう。これが地域の実状なのです。タクシード会社も今はよく対応してくれますが、命の危険が迫る緊迫した時間の中で、救急車を適正に利用出来る様にしていくことが、大きな課題であると強く感じました。

そこで、いざというとき確実に一一九番通報をしようするため、私は「真・救急車適正利用運動」を提案します。まず最初に、救急車に対する未知への不安を払拭します。そのためには、一一九番通報の仕方を理解してもらう必要があり、老人クラブなどを利用し、高齢者を対象とした通報訓練を行います。高齢者は普段、講習会等に参加する機会が少な

いため、通報の内容が分からずためらっていると考えられます。そこで、一一九番通報の流れを実際に体験することで、理解を深め、知識の定着に繋げるのです。

次に、この救急車適正利用カードを地域の各世帯に配布します。このカードには、命に危険のある重度の症状を簡単に判断できる基準を掲載します。例えば、ろれつが回らなかつたり片方の手に力が入らない、頭痛や吐気といった症状は脳卒中、胸部の締め付けられるような強い痛みや冷汗といった症状は心筋梗塞の可能性があり、いち早く救急車の要請が必要であることが一目でわかるようになります。そして、このカードを自宅の電話機近くに置いてもらうことで、このような症状の場合は、迷わず一一九番通報と選択できるようにするのです。

救急処置のスタートラインである一一九番通報を確実に、早く発信できるところが必要であり、救える命、助かる命に変えてくれる礎になると私は確信します。

おばあちゃんが気付かせてくれた落とし穴を無くすためにも、本当の救急車適正利用が必要です。助かる命が増え続けるよう、私は問いかけ続けます。

「救急車、ちゃんと呼べますか?」

意見発表テーマと発表者名

- たかが一秒、されど一秒
五城目町消防本部 伊藤 大将
- 高齢者を守る環境
秋田市消防本部 工藤 健正
- 生と死の狭間で
由利本荘市消防本部 鈴木 祐介
- 安全管理ネットワーク
男鹿地区消防本部 鈴木 強史
- 女性消防士として
にかほ市消防本部 國分美沙樹
- 真・救急車適正利用のすすめ
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 阿部 和範
- AEDをさらに身近に
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 土田 健人
- 災害に強い街をめざして
北秋田市消防本部 木村 亮太
- 「もしも」に備えて
能代山本広域市町村圏組合消防本部 鈴木 和希
- キッズバイスタンダーの育成を
大館市消防本部 阿部 和也
- 雪に強い街づくりに一役買います
横手市消防本部 高橋 伴幸
- 私は手を挙げて笑えます
湖東地区消防本部 加藤 明仁
- 防災意識
鹿角広域行政組合消防本部 成田 雄哉

◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第56期幹部教育		第57期基礎教育	
平成25年1月19日(土)~20日(日)	教育期間	平成25年2月16日(土)~17日(日)	
22人 (15消防団)	入校者数	9人 (4消防団)	
班長以上の階級にある消防団員	対 象 者	入団して概ね3年未満の消防団員	
職責と心構え 現場指揮及び活動要領 (建物火災、林野火災、遭難・搜索) 安全管理 消防活動訓練 訓練礼式 事例研究	教育内容	組織制度 ポンプ操法 救急救助 火災防御 (火災防御戦術、安全対策、緊急自動車運行管理) 災害対策 訓練礼式	



集合写真



消防団名	階 級	氏 名
鹿角市	部 長	齊 藤 洋
能代市	分 団 長	原 田 美 徳
能代市	副分団長	佐 原 操
三種町	副分団長	櫻 庭 均
三種町	副分団長	田 村 美千雄
八郎潟町	班 長	齊 藤 新
男鹿市	部 長	目 黒 透
男鹿市	部 長	安 田 孝 彦
由利本荘市	分 団 長	田 口 明 高
にかほ市	分 団 長	横 山 功
大仙市	班 長	今 野 孝 彦
仙北市	部 長	本 田 清 治
仙北市	部 長	下 田 忠 浩
仙北市	班 長	津 嶋 重 利
横手市横手	分 団 長	正 木 幸 雄
横手市増田	副分団長	石 川 実
横手市平鹿	部 長	齊 藤 寿
横手市平鹿	部 長	神 原 恒 志
横手市山内	部 長	土 場 富 夫
横手市大雄	副分団長	小 松 雅 樹
湯沢市	副分団長	小野寺 良 信
湯沢市	班 長	齋 藤 忠 広

入 校 者
名 簿

消防団名	階 級	氏 名
鹿角市	団 員	村 木 友 之
鹿角市	団 員	柳 舘 慎太郎
男鹿市	団 員	関 山 裕 樹
男鹿市	団 員	佐 藤 英 昭
男鹿市	団 員	原 田 明
八郎潟町	団 員	伊 藤 幸 樹
八郎潟町	団 員	加賀谷 真 央
由利本荘市	団 員	村 上 正 憲
由利本荘市	団 員	阿 部 幸 喜

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

支部情報アラカルト

支部団員研修を開催

大館市消防団
北秋田市消防団
上小阿仁村消防団

秋田県消防協会大館北秋田支部(支部長 成田十喜男)では二月七日(日)、北秋田市交流センター会場に大館市、北秋田市、上小阿仁村の各消防団員を対象とした「中堅幹部及び初任団員研修」を開催しました。

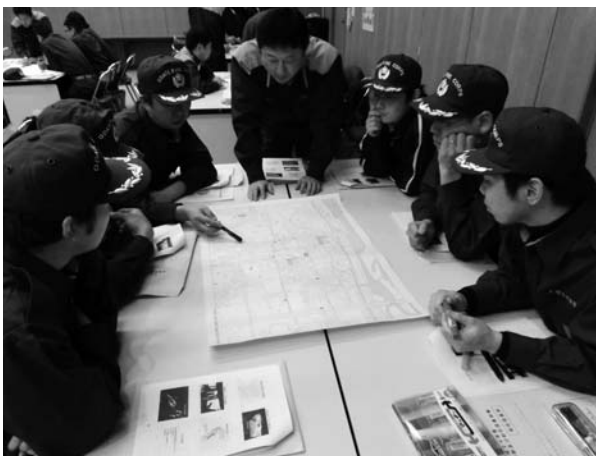
この研修は、消防団員として必要な教養や規律の実技を習得するために毎年行っているもので、中堅幹部団

員の部と初任団員の部に分かれて実施しています。

当日は、中堅幹部団員四九名、初任団員四三名が参加。午前中は(財)日本消防協会年金共済部の木村昌明氏を講師に、「消防互助年金制度」の説明会を受講した後、中堅幹部団員は訓練及び礼式の実技研修、初任団員は大館市消防本部の皆様の指導のもと、図上演習(DIG)の訓練を実施しました。

午後の部では、中堅幹部団員は北秋田市消防本部の皆様の講義を聴講、初任団員は大館市消防本部の皆様の指導のもと、訓練及び礼式の実技研修を受講しました。

閉講式では、北林榮副支部長が「地域のさらなる安全安心のため、



今後とも精進願います」と参加団員を激励するとともに、修了証と参加徽章を手渡しました。

【情報提供】大館北秋田支部



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成25年		平成24年			同期比較	
	2月	累計	2月	累計	年計	2月	累計
建 物	22	43	13	36	234	9	7
林 野	0	0	0	0	31	0	0
車 輛	2	7	1	2	35	1	5
その他	2	3	3	5	82	- 1	- 2
合 計	26	53	17	43	382	9	10
死 者 数	4	6	2	4	17	2	2
負 傷 者 数	7	12	5	17	66	2	- 5

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551代
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651